

令和4年度 第5学年 学級経営案

学校教育目標			
学 級 目 標			
○分からぬことを友達と教え合うことができる児童の育成（かしこく） ○かけ口・悪口を言わず、いじめのない明るい児童の育成（なかよく） ○礼儀正しく、下級生の手本となるような行動ができる児童の育成（元気よく）			
具 体 的 な 取 組			評 価
か し こ く	1 当該学年の漢字を中心にミニテストを行い、読み書きの定着を図る。		I
	2 基礎的・基本的な計算問題を授業や宿題等で反復し、定着を図る。		II
	3 ICT機器を活用し、学習意欲の喚起と視覚的配慮に努める。		III
	4 「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、学習過程に応じたペア活動やグループ活動の時間を確保する。		
	5 児童の実態に応じた補充指導と発展指導を計画的に行ったり、支援員と協力したりしながら個別指導の充実に努める。		
な か よ く	1 互いの良さや頑張りを認め合う場を帰りの会で設定し、支持的風土の定着に努める。		
	2 学期に一度、児童との教育面談を行い、児童の不安や困り感の把握に努める。		
	3 月に1度の学校アンケートを活用し、いじめの早期発見、未然防止に努める。		
	4 授業や行事を通して、児童一人一人が学級への所属感が持てる指導を工夫する。		
元 気 よ く	1 教科体育の中で、体力テストにおける課題を解決する運動を導入時に継続して行う。		
	2 外での運動に親しむことができるよう、声をかけて一緒に外遊びをしたり学級での全員遊びの時間の確保に努めたりする。		
	3 「早寝・早起き・朝ごはん」の重要性について、養護教諭や栄養教諭と連携しながら、体育科の保健領域や家庭科において具体的で効果的な指導を工夫する。		
	4 明るいあいさつや返事ができるように、意義やその良さを実感できる工夫を行い、継続した指導に努める。		
郷 土 愛	1 米作り体験を通して、地域の産業に関わる人々との交流の充実に努める。		
	2 総合的な学習の時間において、湯前町の良さを調べ、伝える場を設定する。		
	3 道徳教育を中心に、地域への誇りや愛着を高める指導の工夫を行う。		
学期評価（達成状況 達成← 4、3、2、1 →未達成）			